



千歳市



# 防災

# ハンドブック

CHITOSE CITY EMERGENCY HANDBOOK

助けられる人から助ける人へ



地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

災害への備え編

お問い合わせ先

千歳市 総務部 危機管理課 防災・危機対策係  
TEL.0123-24-0144 (直通) FAX.0123-22-8852  
【HP URL】 <https://www.city.chitose.lg.jp/>  
【E-mail】 [kikikanri@city.chitose.lg.jp](mailto:kikikanri@city.chitose.lg.jp)



# あなたは災害に備えて何をすべきか、知っていますか？

## はじめに

平成7年には阪神・淡路大震災、平成23年には東日本大震災が発生し、甚大な被害をもたらしました。また北海道でも、平成30年9月6日、過去最大となる最大震度7を記録した胆振東部地震が発生し、多くの方の尊い命が失われました。千歳市でも最大震度6弱の揺れを観測し、幸いにも建物の倒壊や人命にかかわるような大きな被害はありませんでしたが、地震に伴う北海道全域の停電(ブラックアウト)により、市民生活に大きな影響を及ぼすなど、地震の恐ろしさを痛感させられたとともに、自助・共助の重要性(地域での助け合い)など多くの教訓を残しました。

私たちのまわりでは、地震だけでなく、台風・豪雨など、毎年さまざまな災害が発生し、尊い人命や財産が失われています。

市では、これらの教訓をもとに、市民のみなさんが安心して生活できる災害に強いまちづくり・ひとづくりを目指していますが、いつ、どこで起きるか予想が困難な災害から生き残るためには、「市民のみなさん、一人ひとりの備えと対応」が最も重要となります。

この「防災ハンドブック」は、災害に備えておくことや災害が起きたときの対処方法などをまとめたものです。

日ごろから手の届くところに置いていただき、災害に備える「防災」と、災害時の被害を少しでも減らす「減災」のために活用してください。

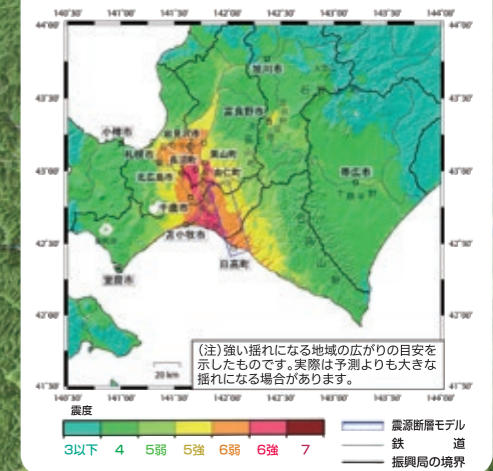
## 石狩低地東縁断層帯

千歳市の東側には、直下型地震の原因となる活断層帯が存在しています。

この、活断層帯は石狩低地東縁断層帯といわれ、美瑛市から安平町に至る主部と、千歳市から日高町沖合の海域に至る南部に分かれています。

石狩低地東縁断層帯南部が原因で地震が発生した場合、千歳市では最大震度6強の強い揺れが予測されています。また、主部と南部が連動して地震が起こる可能性も指摘されており、その場合は最大震度7となる可能性もあります。

### 石狩低地東縁断層帯南部の地震による予測震度分布



阪神・淡路大震災 写真提供(一財)消防防災科学センター



東日本大震災 写真提供(一財)消防防災科学センター



北海道胆振東部地震 写真提供北海道開発局





# 地震災害編①「身のまわりの減災対策」

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に  
くいとめるためにも日ごろからの準備が必要です。  
家族で減災について話し合い、災害から身を守りましょう。

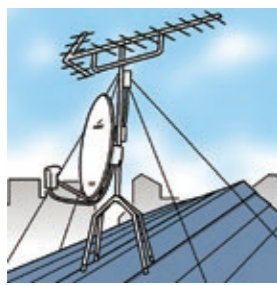


## 屋外の減災対策

地震による被害を減らすために自宅の安全対策について点検しましょう。住宅の耐震性に不安がある場合は耐震診断を行い、補強等を実施するようにしましょう。

●住宅の耐震化に関する相談窓口 千歳市 建設部 建築課 建築指導係 電話番号 0123-24-0751

### 屋根



- 屋根のひび割れ、ずれ、はがれなどを確認しましょう。
- アンテナはしっかりと固定しましょう。

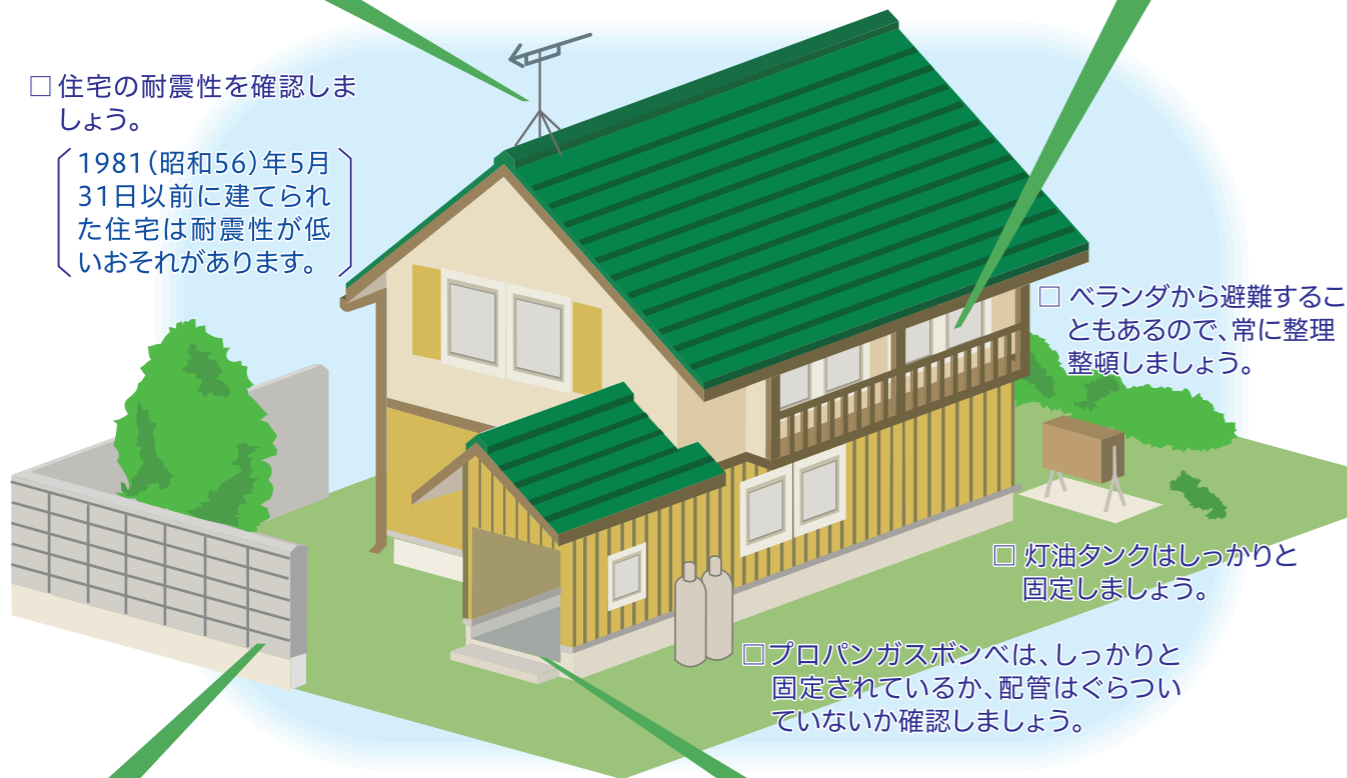
### 窓ガラス



- 万一の為にガラス飛散防止フィルムをはりましょう。
- 強化ガラスにしましょう。

- 住宅の耐震性を確認しましょう。

〔1981(昭和56)年5月31日以前に建てられた住宅は耐震性が低いおそれがあります。〕



- ベランダから避難することもあるので、常に整理整頓しましょう。

- 灯油タンクはしっかりと固定しましょう。

- プロパンガスボンベは、しっかりと固定されているか、配管はぐらついていないか確認しましょう。

### ブロック塀の点検



- ブロック塀は、ぐらついていないか、鉄筋が入っているか確認しましょう。
- ひび割れや壊れているところはないか、特に通学路、避難路に面している所はしっかり補強しましょう。

### 玄関の周り



- 自転車や植木鉢など通行の支障となるものを置かないようにしましょう。
- 古新聞・古雑誌など引火しやすいものを放置しないようにしましょう。

## 室内の安全対策

地震時のケガの原因は、家具の転倒によるものがもっとも多く、室内が散乱することにより逃げ遅れてしまう原因にもつながります。家具などの配置や固定を見直してみましょう。

**POINTS**

- 家具などを配置する場合は、出入口や就寝位置と重ならないように注意しましょう。

**POINTS**

- カーテン、カーペットや寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

**POINTS**

- 背の高い家具や本棚は、L型金具などで壁に固定しましょう。タンス・本棚などに収納する時は重い物を下に、軽い物を上に収納しましょう。

建物が長方形の場合、構造的に短辺方向に揺れやすくなります。

揺れやすい方向  
揺れにくい方向  
転倒しやすい  
転倒しにくい

**POINTS**

- 家具の上には、ガラス製品などの割れやすい物は置かないようにしましょう。

**POINTS**

- 家具の扉などにガラスが使われている場合は、飛散防止フィルムをはりましょう。

**POINTS**

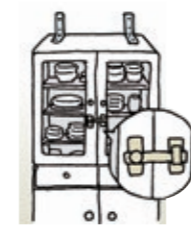
- 家具や本棚の下に転倒防止のシートを置き、壁にもたせ気味に配置しましょう。

### テレビ・パソコン



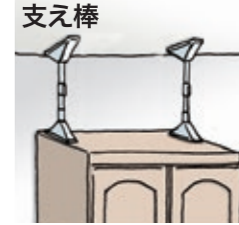
- できるだけ低い位置に固定して置き(家具の上はさける)、金具や耐震マットなどで固定しましょう。

### 食器棚



- L字金具や支え棒などで固定し、棚板には滑り止めシートを敷きましょう。扉は開かないように留め金具をつけましょう。

### タンス・本棚



- L字金具や支え棒などで固定しましょう。上下2段タイプのものは、つなぎ目を金具で連結しましょう。

### 暖房機器



- 耐震自動消火装置付きのものを選び、周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。



# 地震災害編②「地震の対処法」

地震から身を守る最大のポイントは「日ごろの心構え」です。ケガや火災などの二次災害を引き起こさないために、対処法を確認しておきましょう。



## 地震が起きたら…

地震が起きたとき、とっさの判断は難しいものです。日ごろから、いざというときの行動を確認しましょう。

**1 まず、身を守る**

机の下などにもぐり、身を守りましょう。

**2 安全を確保して火の始末**

コンロなどの火を消す(火が出ても落ち着いて初期消火しましょう)。

**3 出口を確保**

家が傾いてドアが開かなくならないように、すばやく窓や扉を開けましょう。

**4 わが家の安全確認**

火災、家屋倒壊の危険やガス漏れなどを確認しましょう。

**指定緊急避難場所へ!!** P23~24を参照

避難は徒歩で、持ち物は少なく!!

- ▶動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。
- ▶家族への連絡メモを残す。
- ▶ガスの元栓を締め、電気ブレーカーを切る。
- ▶火の元の確認と消火。

**5 情報確認**

近所の人と声をかけ合って安全を確かめ、正確な情報を集めましょう。

## 地震の震度(気象庁震度階級)

各震度に対応して発生する現象や被害の状況をできるだけわかりやすく表現しています。

<p><b>震度0</b> 揺れを感じない。</p>	<p><b>震度5弱</b> 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚の食器類、書棚の本が落ちることがある。</p>
<p><b>震度1</b> 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。</p>	<p><b>震度5強</b> 物につかまらなさと歩くことが難しい。補強されていないブロック塀が崩れることがある。</p>
<p><b>震度2</b> 電灯などがわずかに揺れる。</p>	<p><b>震度6弱</b> 立っていることが困難になる。固定していない家具が移動し、倒れるものもある。</p>
<p><b>震度3</b> 棚の食器類が、音を立てることもある。</p>	<p><b>震度6強</b> 立って動くことができない。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多い。</p>
<p><b>震度4</b> ほとんどの人が驚く。電灯などが大きく揺れ、眠っている人のほとんどが、目を覚ます。</p>	<p><b>震度7</b> 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。</p>

## もし、外出中に地震が起きたら…

**自動車運転中は…**

- 1 ハザードランプを点灯し、周りの車に注意をうながす。
- 2 急ブレーキはかけず、緩やかに速度を落とし、道路の左によせて停車する。
- 3 車から離れるときは、カギをつけて、ロックはしない。

**鉄道・バスでは…**

- 1 つり革、手すりをしっかりつかまる。
- 2 勝手に車外に飛び出さない。
- 3 乗務員の指示に従う。

**津波が襲ってきそうな所にいたら…**

- 1 速やかに高台へ避難する。
- 2 より遠く、より高く、より奥へ逃げる。
- 3 警報が解除されるまで海辺や河川には近づかない。

**エレベーターでは…**

- 1 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる。
- 2 万一閉じ込められたら、エレベーターの中の状態をインターホンで通報する。



# 火山噴火編

火山噴火に備えて樽前山ハザードマップを確認しておきましょう。



## 樽前山について

千歳近郊の活火山としては、樽前山(風不死岳を含む)、恵庭岳が存在し、なかでも、樽前山は、1981年(昭和56年)の小噴火後は比較的平穏な状態を保っていますが、現在も噴気活動を続けており、注意が必要です。

噴火につながりそうな前兆現象が見られたとき、気象庁は、噴火警戒レベルを付して、「噴火警報」を発表して警戒を呼びかけます。また、火山が噴火した際にいち早くお知らせする「噴火速報」や、噴火後にどこにどれだけの量の火山灰が降るかを予測する「降灰予報」が発表されますので、これらの情報を利用して落ち着いて行動するようにしましょう。

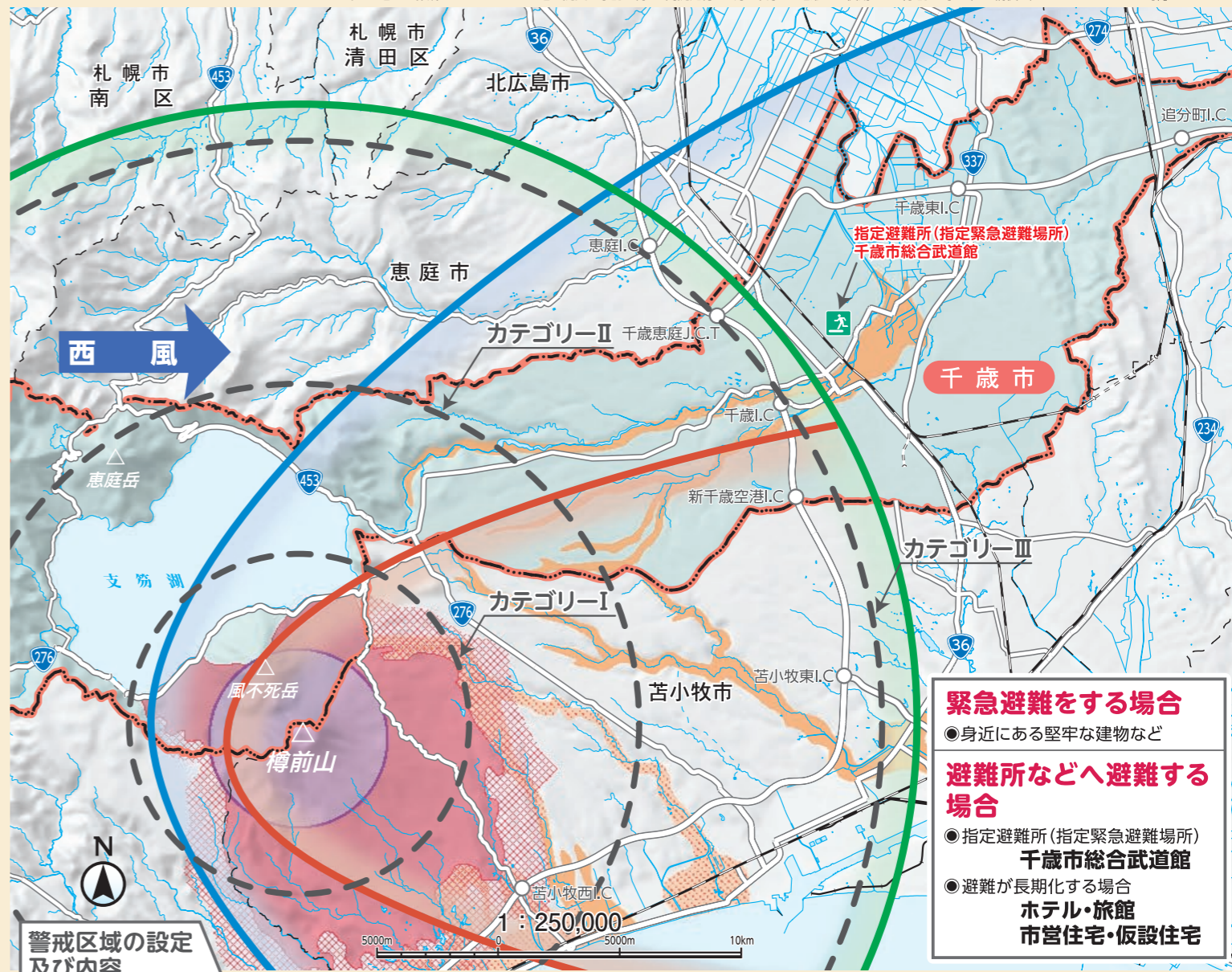
### ▶ 噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード	説明		
				火山活動の状況	住民などの行動	登山者・入山者への対応
特別警報	噴火警報 (居住地域)  又は 噴火警報	居住地域  及び それより 火口側	レベル5 〔避難〕	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態と予想される。	危険な居住地域からの避難等が必要。	
			レベル4 〔避難準備〕	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。		
警報	噴火警報 (火口周辺)  又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで  火口周辺	レベル3 〔入山規制〕	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及び)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて要配慮者等の避難準備等。	登山禁止や入山規制等、危険な地域への立入規制等。
			レベル2 〔火口周辺規制〕	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及び)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。		
予報	噴火予報	火口内 など	レベル1 〔活火山であることに留意〕	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及び)。	住民は通常の生活。	状況に応じて火口内及び近傍への立入規制等。

この地図は樽前山が大噴火をおこした場合に予想される降灰区域などを表したものです。

## 〔樽前山ハザードマップ〕

〔この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平30情使、第72-GISMAP42298号)〕



**緊急避難をする場合**

- 身近にある堅牢な建物など

**避難所などへ避難する場合**

- 指定避難所(指定緊急避難場所)  
千歳市総合武道館
- 避難が長期化する場合  
ホテル・旅館  
市営住宅・仮設住宅

分類	カテゴリーI	カテゴリーII	カテゴリーIII
範囲	危険度が大きい地域:山頂部から半径7km以内	カテゴリーI以外で避難が困難となる地域:山頂部から半径14km以内	カテゴリーIとII以外で、注意を要する地域:山頂部から半径24km以内
内容	噴石、火砕流、泥流などの発生が予測され、生命に危険を及ぼす可能性があると判断される地域	降灰や降雨型泥流などにより、避難が困難と判断される地域	多量の降灰により、災害対応などに注意を要する地域

【火砕流】		【泥流・土石流】		【降灰】	
火山から噴出された高温の火山灰・軽石・岩片・火山ガスなどが、斜面を急速に流下する現象です。温度は数百℃に達します。軽石流あるいは熱雲と呼ぶことがあります。					
	危険度重大	火砕流の本体に襲われる危険性の高い区域		火山灰は上空の風に運ばれます。上空の風は、地上の風とは異なり、強い西風の日が多く、そのため、降灰の危険区域は、主に樽前山の東側に広がります。数センチ積もるだけで、道路や鉄道などの交通機関がマヒします。	
	危険度大	火砕流の熱風部に襲われる危険性の高い区域		(西風のとき) 100cm以上火山灰が堆積する危険性の高い区域 危険度大	
【噴出岩塊】					
直径数10cm~数mの岩が火口から数kmまで飛びます。小さな噴火でも絶対に火口に近づかないようにしましょう。					
	危険度重大	直径1.5mの岩が飛んで来る危険性の高い区域		(その他の風向き) 25cm以上火山灰が堆積する危険性の高い区域 ※この区域の外にも降灰の可能性がります。 危険度中	
		(積雪期には...) 危険度重大		雨のときに土石流がはん流する危険性の高い区域 ※降灰の分布によって危険区域は変わるので、これ以外の谷にも危険性があります。	
		火山灰が積もった地域(西風の時を想定)では 危険度大		風向きによっては100cm以上の火山灰が堆積する可能性のある区域 ※この区域の外でも25cm以上火山灰が堆積する可能性があります。	



# その他災害編 「風水害・土砂災害」

風水害や土砂災害は、急激に状況が変化する場合があります。異変を感じたら、すぐ避難しましょう。

## 風雨による危険度のチェックポイント

### ▶ 1時間雨量による雨と被害の目安

※降水量が1時間1mmとなる水の量とは、1㎡の面積に、1mm(1リットル)降ること。

**やや強い雨**  
ザーザーと降る雨。地面いちめんに水たまりができます。長く続く場合は注意が必要です。**10~20mm/h**

**強い雨**  
どしゃ降りの雨。側溝や下水があふれ、小川のはん濫、崖崩れの心配もあります。**20~30mm/h**

**激しい雨**  
バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになり、規制も行われます。**30~50mm/h**

**非常に激しい雨**  
滝のように降り、地下に雨水が流れ込む場合や、土石流などの災害も発生しやすくなります。**50~80mm/h**

**猛烈な雨**  
息苦しくなるような圧迫感があり、雨による大規模災害が発生するおそれがあります。**80mm以上/h**

### ▶ 風と被害の目安

※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍~3倍以上になることがあります。

**やや強い風**  
風に向かって歩きにくくなります。取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始めます。**風速10~15m/s**

**強い風**  
風に向かって歩けず、転倒する人も出ます。ビニールハウスが壊れるなどの被害が出ます。**風速15~20m/s**

**非常に強い風**  
鋼製シャッターの破損や、風で飛ばされた物で窓ガラスが割れるおそれがあります。**風速20~25m/s**

**非常に強い風**  
ブロック塀が壊れたり、取り付けの不完全な外装材が飛び危険があります。**風速25~30m/s**

**猛烈な風**  
屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊なども発生するようになります。**風速30m/s以上**

### ◎ 注意報・警報の発表基準値(石狩南部・千歳市)

	大雨注意報	大雨警報
表面雨量指数基準	9	14
土壌雨量指数基準	75	128

表面雨量指数：短時間強雨による浸水危険度の高まりを把握するための指標  
土壌雨量指数：土砂災害発生の危険性を示す指標で、降った雨が土壌中にたまっている状態を示す指数。解析雨量、降水短時間予報をもとに、全国くまなく5kmメッシュごとに算出する。

### ◎ 注意報・警報の発表基準値(石狩南部・千歳市)

**強風注意報** **13m/s**      **暴風警報** **18m/s**

注意報・警報の違い 「注意報」は災害が発生するおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。「警報」は重大な災害が発生するおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報です。発生が予想される自然現象に対して、それぞれ基準値(具体的な数値)が、各地域ごとに定められています。

## 土砂災害の前づれ現象に注意

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いた時に発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。



**土砂災害警戒情報とは** 大雨により土砂災害発生の危険度が高まった市区町村に出されるものです。

**雷や竜巻に備える** 発達した積乱雲により、雷や竜巻、集中豪雨が発生することがあります。屋外で行動する場合は、雷注意報や竜巻注意情報が発表されていないかなど気象情報を確認しましょう。

**雷の場合** **雷鳴が聞こえたらすぐ避難**  
■ 雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。屋外にいる場合は、安全な場所へ避難しましょう。

**竜巻の場合** **頑丈な建物の中へ避難**  
■ 避難するときは飛ばされた看板などの飛来物に注意しましょう。  
■ 避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせましょう。  
■ 車庫・物置・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険です。

**建物の中や自動車へ避難**  
■ 建物や屋根付きの乗り物(自動車など)へ避難しましょう。  
■ 雨宿りで木の下に入るのは危険です。

**木や電柱から4m以上離れる**  
■ 木や電柱に落ちた雷から放電するおそれがあるので、4m以上離れましょう。  
■ 近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。

**屋内でも、窓や壁から離れる**  
■ 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動しましょう。  
■ 窓やカーテンを閉めましょう。  
■ 頑丈な机の下に入り、身を守りましょう。



# その他災害編 「災害への備えと警戒レベル」

避難情報や防災情報を確認し、二次災害を考慮に入れ、足元に注意して避難しましょう。

## 風水害・土砂災害に備える

千歳市の中心を流れる千歳川流域のはん濫、浸水被害は、近年、河川整備が進み水害の数は減りましたが、集中豪雨や強風による倒木被害で交通や電気等のライフラインに大きな被害をもたらすことがありますので注意しましょう。

### ！ 天気予報や気象情報に注意

台風や豪雨はある程度、進路や規模などを予測できます。普段から気象情報に十分注意して、風や雨に対する対策を立てることが大切です。



### ！ 外出をひかえる

注意報・警報が発表されたときは、気象状況に十分注意し、無理な外出はしないようにしましょう。



### ！ 指定緊急避難場所・指定避難所などを確認する

洪水・土砂災害ハザードマップ(P15～P22参照)を確認し、あなたの近くの避難場所を確認しておきましょう。



### ！ 安全な避難順路の確認

指定緊急避難場所・指定避難所までの実際の道順を確認しましょう。目印になるものを、おぼえておくとう便利です。



※水害の状況により避難場所が変更となる場合があります。

## 避難行動への心得

### 1 2人以上で避難

市役所、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意し、できるだけ1人の避難は避けましょう。また、子どもからは目を離さないようにしましょう。



### 2 助け合って避難を

子どもや高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。また、近所の人の場合も積極的に協力しましょう。



### 3 安全な避難

浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは、土砂災害のおそれがあるので注意しましょう。



### 4 避難は徒歩で

車での避難は、緊急車両通行の妨げや交通渋滞を招くほか、浸水により動けなくなるおそれもあります。特別な事情がない限り、徒歩で避難しましょう。



### 5 避難に遅れたら…

万一、避難に遅れたときは、近くの丈夫な建物のできるだけ高いところに逃げましょう。



### ！ 浸水時の歩行に注意！！

浸水した場合、水の流れていなくても歩ける深さの目安は、ひざ下(約30cm)くらいまでです。水の深さが腰まであったり、浅くても水の流が速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。

## 洪水などから身を守る避難行動

自宅や自分のいる場所が浸水想定区域内で建物の最上階の床を上回る場合や家屋倒壊等氾濫想定区域内にある場合は、浸水前の早い段階で安全な場所へ避難しましょう。

万が一、逃げ遅れて浸水後の避難となる場合や、安全な場所まで移動することが危険な場合は、屋内の高いところや屋上へ避難する垂直避難(屋内安全確保)をしましょう。

## 土砂災害などから身を守る避難行動

自宅や自分のいる場所が土砂災害(特別)警戒区域内にある場合、移動が可能であれば、安全な場所へ立ち退き避難をしましょう。

万が一、安全な場所への避難が難しい場合は、近くの頑丈な建物の2階以上などへ、または、屋外への避難がかえって危険な場合は、崖と反対側のなるべく高い階の部屋などへの垂直避難(屋内安全確保)をしましょう。

## 風水害・土砂災害の防災情報に「警戒レベル」が付与されました

平成30年7月豪雨を教訓に、住民の方が「自らの命は自ら守る」という意識をもった的確な避難行動ができるよう、市町村が発令する避難情報と気象台等が発表する防災気象情報を、5段階の警戒レベルを用いてお伝えすることとなりました。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災気象情報等
<b>災害発生</b> 警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	<b>災害発生情報</b> 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令(市が発令)	<b>警戒レベル相当情報(例)</b> <b>警戒レベル5相当情報</b> ● 氾濫発生情報 ● 大雨特別警報 等  <b>警戒レベル4相当情報</b> ● 氾濫危険情報 ● 土砂災害警戒情報 等  <b>警戒レベル3相当情報</b> ● 氾濫警戒情報 ● 洪水警報 等  ※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
<b>全員避難!!</b> 警戒レベル 4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	<b>避難勧告 避難指示(緊急)</b> 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令(市が発令)	
<b>高齢者等は避難!!</b> 警戒レベル 3	避難に時間を要する方(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>避難準備・高齢者等避難開始</b> (市が発令)	
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	<b>洪水注意報・大雨注意報等</b> (気象庁が発令)	
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> (気象庁が発令)	

警戒レベルが発令された場合は、レベルに応じた避難行動等を行ってください。また、市からの避難情報の発令がなくても、身のまわりで危険を感じたら、自主的に安全な場所へ避難するように心がけましょう。

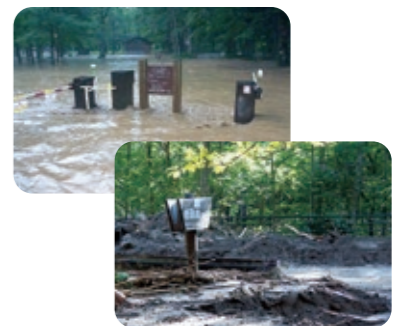
## 特別警報について

### 【特別警報が発令されたら】

「特別警報」とは、「重大な災害への危険性が著しく高まっているとき」など、気象警報より危険な場合に気象庁が発令するもので、千歳市に発表される特別警報の種類には、「大雨、大雪、暴風、暴風雪」の4種類があります。

### 【北海道で初めて「大雨特別警報」】

平成26年9月には、大雨により北海道で初めて「大雨特別警報」が発令され、千歳市は大和、桂木、蘭越、新星地区及び支笏湖地区に対し避難勧告を発令しました。この大雨により、支笏湖地区を中心に土砂崩れや道路の崩落など大きな被害が発生しました。



支笏湖地区の被害の様子

### 大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合

### 暴風特別警報

数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により、暴風が吹くと予想される場合

### 大雪特別警報

数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

### 暴風雪特別警報

数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合



# その他災害編 「雪害・航空機災害・火災について」

異常気象による大雪や火の不始末による火災に注意しましょう。



## 雪害に備える

千歳市は、道内では降雪の少ない地域ですが、急速に発達した低気圧などがもたらす大雪により、市内でも道路の交通障害や農業被害、送電線への着雪による停電などの災害が発生するおそれがあります。

平成20年2月には、暴風雪による吹き溜まりが発生し、200台を超える車両の立ち往生や道路の通行止めが数多く発生しました。

雪に伴う注意報・警報・特別警報が発表されたときは、気象状況に十分注意し、無理な外出はしないようにしましょう。



自衛隊の災害派遣による救助

### ◎注意報・警報の発表基準値(石狩南部:千歳市)

<h4>大雪注意報</h4> <p>平地 <b>20cm/12h</b>の降雪 〔山間部 <b>30cm/12h</b>〕</p>	<h4>大雪警報</h4> <p>平地 <b>30cm/6h</b>の降雪 〔平野部 <b>40cm/12h</b>〕 あるいは 〔山間部 <b>50cm/12h</b>〕</p>	<h4>風雪注意報</h4> <p>平均風速 <b>11m/s</b> 〔雪による視程障害を伴う〕</p>	<h4>暴風雪警報</h4> <p>平均風速 <b>16m/s</b> 〔雪による視程障害を伴う〕</p>
---	--	---	---

## 航空機災害に備える

千歳市には、新千歳空港と航空自衛隊千歳基地が所在するため、飛行場及びその周辺における航空機災害の発生に対し、日ごろから備えておかなければなりません。

千歳市では、航空機災害が発生した場合に関係機関と連携し、速やかに応急対策などが行えるよう航空機災害応急対策計画を策定し、防災体制の整備に努めています。

万一、航空機災害が発生した場合は、防災行政無線や緊急速報メール、広報車などにより、災害に関する情報を伝達しますので、正しい情報を確認し、あわてず冷静に行動するようにしましょう。



新千歳空港ターミナル

## 火災に備える

### ▶住宅防火/いのちを守る7つのポイント

災害時における火災は被害を何倍にも大きくしてしまいます。災害時に限らず、日常生活においても火災は発生しやすいので常に気をつけましょう。

#### ! 3つの習慣

- 1** 寝たばこは絶対やめる。
- 2** ストープを使用するときは燃えやすいものを近づけない。
- 3** ガスこんろなどのそばを離れるときは必ず火を消す。

#### ! 4つの対策

- 1** 逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する。
- 2** 寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐため、防炎品を使用する。
- 3** 火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器を設置する。
- 4** お年寄りや身体の不自由な方を守るため、地域の協力体制をつくる。

## 住宅用火災警報器の設置

消防法及び条例により、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。

●住宅用火災警報器には煙に反応するタイプ(煙式)と、熱に反応するタイプ(熱式)があり、条例で義務付けられている感知器は煙式です(台所では料理の煙などにより誤作動を起こす可能性があるため、熱式にすることができます)。

●住宅用火災警報器の基本的な取り付け場所は、台所と寝室です。寝室が2階の場合は階段にも設置が必要です。

●万一、火災が発生した場合、きちんと住宅用火災警報器が作動できるよう日頃からお手入れと作動確認をしましょう。



## 消火器の使い方

- 1** 安全ピンに指をかけて上に引き抜きます。
- 2** ホースを外して火元に向けず(できるだけ先端をもつ)。
- 3** レバーを強く握ると消火剤が噴射されるので、煙や炎ではなく、火元に吹き付けます。



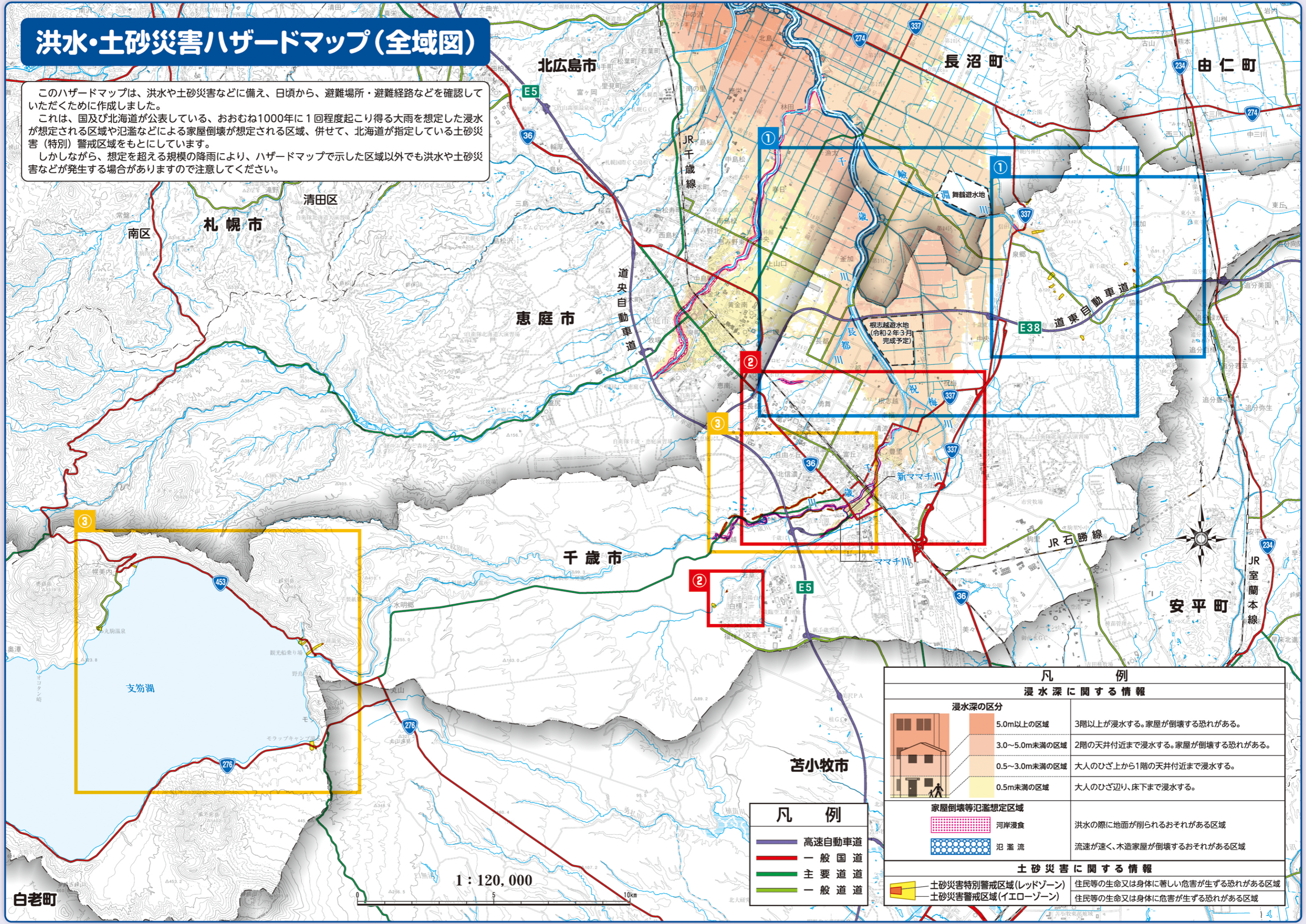
**注意!** 消火のあとも熱が残っていると再発火のおそれがあるので注意しましょう。

**注意!** 消火器の設置は日の当たる場所や湿気の多い所を避けます。



# 洪水・土砂災害ハザードマップ(全域図)

このハザードマップは、洪水や土砂災害などに備え、日頃から、避難場所・避難経路などを確認していただくために作成しました。  
 これは、国及び北海道が公表している、おおむね1000年に1回程度起こり得る大雨を想定した浸水が想定される区域や氾濫などによる家屋倒壊が想定される区域、併せて、北海道が指定している土砂災害(特別)警戒区域をもとにしています。  
 しかしながら、想定を超える規模の降雨により、ハザードマップで示した区域以外でも洪水や土砂災害などが発生する場合がありますので注意してください。



1 : 120,000

凡 例	
	高速自動車道
	一般国道
	主要道道
	一般道道

凡 例		
浸水深に関する情報		
	<b>浸水深の区分</b>	
	5.0m以上の区域	3階以上が浸水する。家屋が倒壊する恐れがある。
	3.0~5.0m未満の区域	2階の天井付近まで浸水する。家屋が倒壊する恐れがある。
	0.5~3.0m未満の区域	大人のひざ上から1階の天井付近まで浸水する。
	0.5m未満の区域	大人のひざ辺り、床下まで浸水する。
	<b>家屋倒壊等氾濫想定区域</b>	
	河岸浸食	洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
	氾濫流	流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
土砂災害に関する情報		
	土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずる恐れがある区域
	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	住民等の生命又は身体に危害が生ずる恐れがある区域

地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

災害への備え編

地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

災害への備え編



# 洪水・土砂災害ハザードマップ①

### 凡 例

**浸水深の区分**

- 5.0m以上の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

- 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域(河岸浸食)
- 流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域(氾濫流)

**指定避難所**

- 水位観測所
- 水害時危険箇所
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 避難方向(土砂災害)
- 避難方向(洪水)

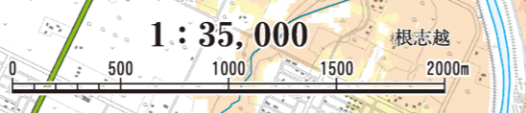
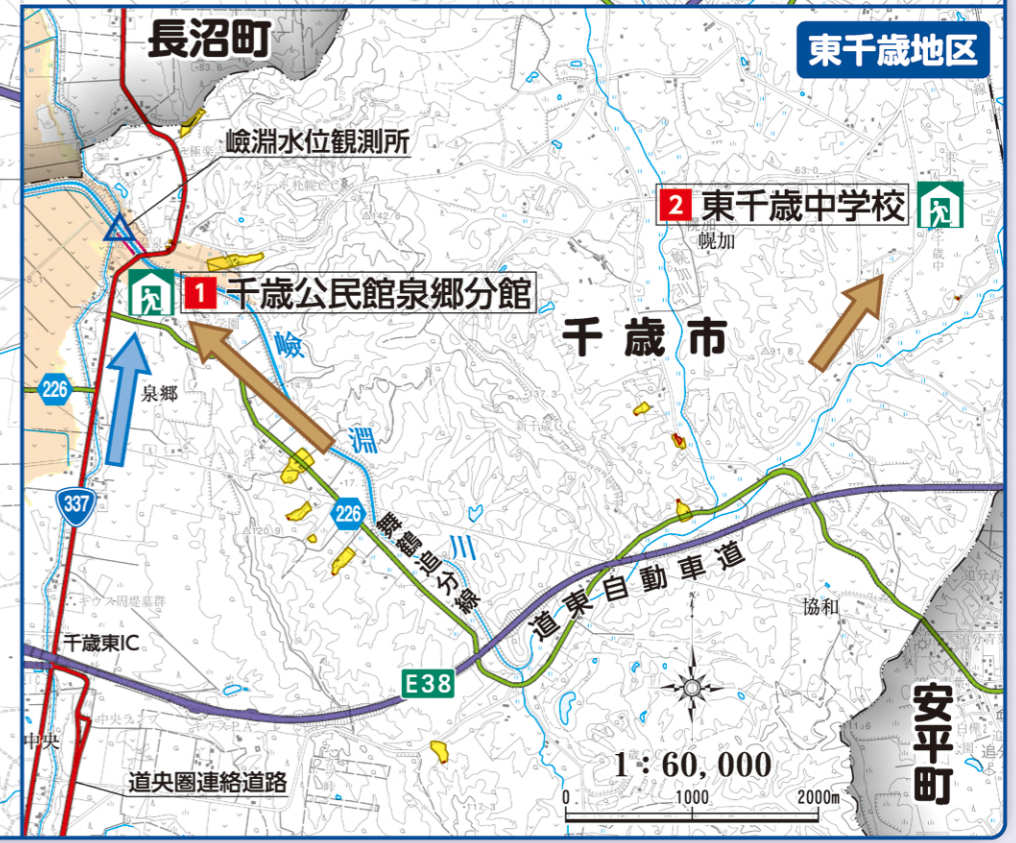
### 凡 例

- 高速自動車道
- 一般国道
- 主要道道
- 一般道道



### 指定避難所 兼 指定緊急避難場所 一覧

番号	名 称	住 所	町 名	洪水等	土砂
1	千歳公民館泉郷分館	泉郷289	泉郷	○	○
2	東千歳中学校	幌加731	協和、幌加	○	○
3	中央コミュニティセンター	中央539	中央	○	
4	勇舞中学校	勇舞3丁目4-2	釜加、長都、都みどり台北、みどり台南	○	



地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

災害への備え編

地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

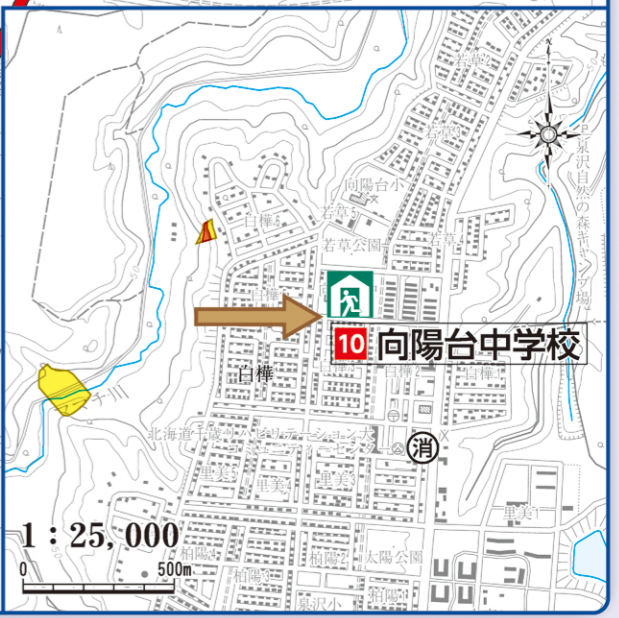
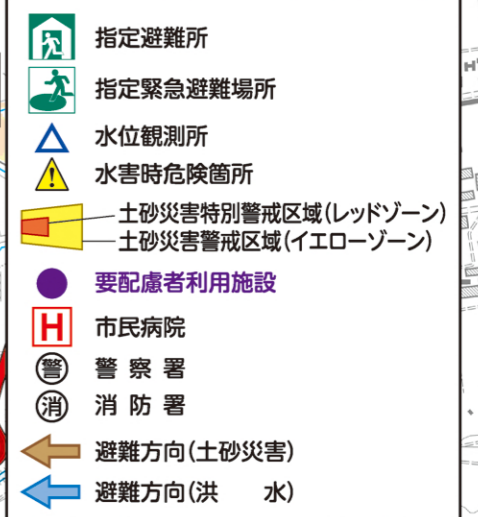
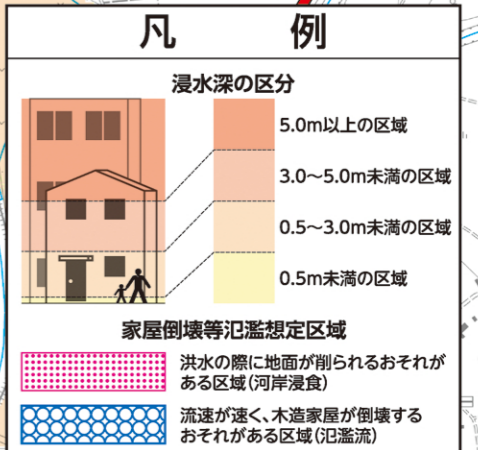
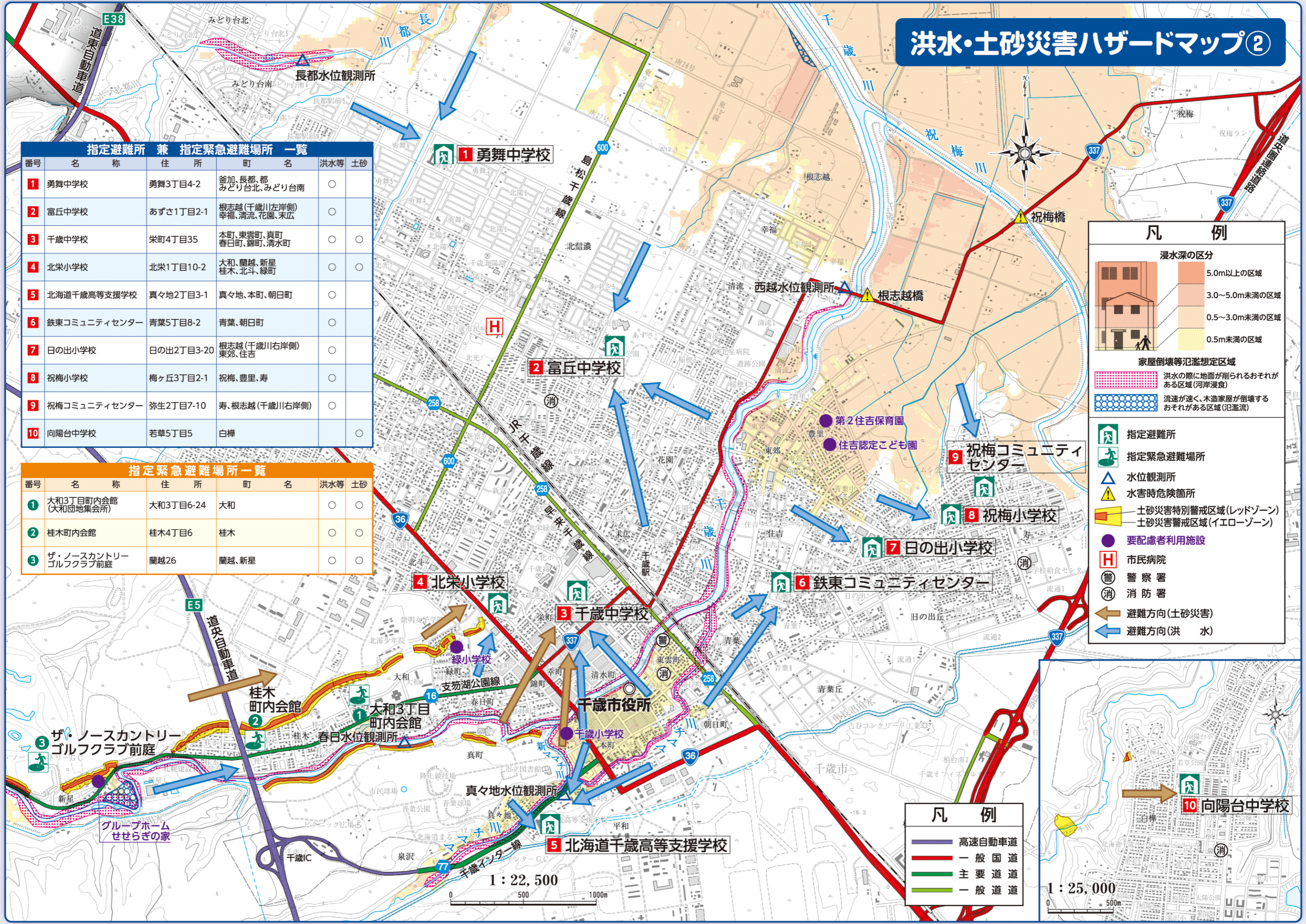
災害への備え編



# 洪水・土砂災害ハザードマップ②

番号	名称	住所	町名	洪水等	土砂
1	勇舞中学校	勇舞3丁目4-2	釜加、長都、都みどり台北、みどり台南	○	○
2	富丘中学校	あざさ1丁目2-1	根志越(千歳川左岸側) 幸福、清流、花園、末広	○	○
3	千歳中学校	栄町4丁目35	本町、東雲町、真町 春日町、錦町、清水町	○	○
4	北栄小学校	北栄1丁目10-2	大和、蘭越、新星 桂木、北斗、緑町	○	○
5	北海道千歳高等支援学校	真々地2丁目3-1	真々地、本町、朝日町	○	○
6	鉄東コミュニティセンター	青葉5丁目8-2	青葉、朝日町	○	○
7	日の出小学校	日の出2丁目3-20	根志越(千歳川右岸側) 東郊、住吉	○	○
8	祝梅小学校	梅ヶ丘3丁目2-1	祝梅、豊里、寿	○	○
9	祝梅コミュニティセンター	弥生2丁目7-10	寿、根志越(千歳川右岸側)	○	○
10	向陽台中学校	若草5丁目5	白樺	○	○

番号	名称	住所	町名	洪水等	土砂
1	大和3丁目町内会館 (大和団地集会所)	大和3丁目6-24	大和	○	○
2	桂木町内会館	桂木4丁目6	桂木	○	○
3	ザ・ノースカントリー ゴルフクラブ前庭	蘭越26	蘭越、新星	○	○



地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

災害への備え編

地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

災害への備え編



# 洪水・土砂災害ハザードマップ③

番号	名称	住所	町名	洪水等	土砂
1	千歳中学校	栄町4丁目35	本町、東雲町、真町、春日町、錦町、清水町	○	○
2	北栄小学校	北栄1丁目10-2	大和、蘭越、新星、桂木、北斗、緑町	○	○
3	北海道千歳高等支援学校	真々地2丁目3-1	真々地、本町、朝日町	○	○
4	休暇村支笏湖 (指定避難所のみ)	支笏湖温泉	支笏湖温泉、美笛、幌美内、モラップ	○	○

番号	名称	住所	町名	洪水等	土砂
1	大和3丁目町内会館 (大和団地集会所)	大和3丁目6-24	大和	○	○
2	桂木町内会館	桂木4丁目6	桂木	○	○
3	ザ・ノースカントリー ゴルフクラブ前庭	蘭越26	蘭越、新星	○	○
4	支笏湖小学校	支笏湖温泉2	支笏湖温泉、美笛、幌美内、モラップ	○	○



### 凡例

**浸水深の区分**

- 5.0m以上の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

**家屋倒壊等氾濫想定区域**

- 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域(河岸浸食)
- 流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域(氾濫流)

**指定避難所**

**指定緊急避難場所**

**水位観測所**

- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

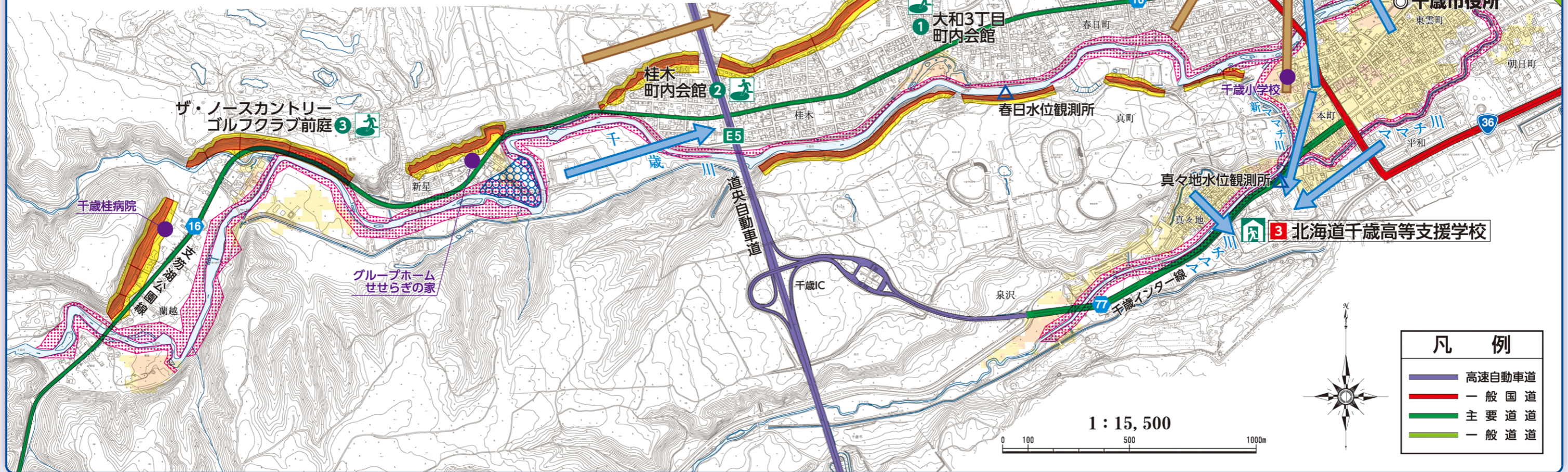
**要配慮者利用施設**

**警察署**

**消防署**

**避難方向(土砂災害)**

**避難方向(洪水)**



### 凡例

- 高速自動車道
- 一般国道
- 主要道道
- 一般道道

地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

災害への備え編

地震災害編

火山噴火編

その他災害編

防災マップ編

災害への備え編





# 指定緊急避難場所一覧



災害の種類に応じ、その危険から逃れるために避難する場所です。  
地域の公園や学校など合計137か所を指定しています。



## ●地震

番号	名称	所在地
1	青葉公園	真町2196-1及び泉沢868
2	北海道千歳高等支援学校	真々地2丁目3-1
3	千歳小学校	本町3丁目4
4	グリーンベルト(花の広場)	東雲町3丁目3-1、2
5	グリーンベルト(旅人の広場)	朝日町5丁目31
6	朝日町西チビッコ広場公園	朝日町3丁目
7	朝日町東公園	朝日町8丁目1206-186
8	グリーンベルト(ワンパク広場)	清水町4丁目
9	グリーンベルト(つどいの広場)	幸町4丁目27、千代田町4丁目
10	千歳中学校	栄町4丁目
11	春日公園	春日町1丁目5
12	緑小学校	緑町4丁目
13	うぐいす公園	大和3丁目6
14	指宿公園	大和4丁目3
15	桂木町内会館	桂木4丁目6
16	桂木5号公園	桂木4丁目7
17	蘭越共同墓地前広場	蘭越
18	ザ・ノースカントリーゴルフクラブ前庭	蘭越26
19	千歳市蘭越生活館	新星1丁目3
20	北栄小学校	北栄1丁目1
21	北栄1号公園	北栄1丁目7
22	北進小中学校	北栄1丁目2
23	北海道千歳高等学校	北栄1丁目4-1
24	北栄緑地	北栄2丁目11
25	新富おおぞら公園	新富1丁目6
26	はくちょう公園	新富2丁目4
27	しんとみ公園	新富3丁目14
28	しなの公園	信濃2丁目18
29	信濃小学校	信濃2丁目34
30	しなの第2公園	信濃4丁目18
31	富士2号公園	富士4丁目13
32	北斗2号公園	北斗2丁目13
33	北斗すみれ公園	北斗4丁目4
34	北斗中学校	北斗5丁目1-1
35	白樺公園	自由ヶ丘1丁目8
36	自由ヶ丘公園	自由ヶ丘4丁目9
37	桜木小学校	自由ヶ丘7丁目1
38	ふなっこ公園	桜木1丁目7
39	桜木2号公園	桜木4丁目10
40	開拓記念公園	北信濃864-4
41	上長都公園	上長都1050-19
42	上長都明星公園	上長都5-2
43	長都4号公園	長都駅前1丁目15
44	長都3号公園	長都駅前2丁目4
45	長都1号公園	長都駅前3丁目4
46	スズラン公園	長都駅前4丁目1
47	長都2号公園	長都駅前4丁目6
48	みどり台1号公園	みどり台南4丁目109
49	みどり台2号公園	みどり台南2丁目116
50	みどり台3号公園	みどり台北4丁目110

番号	名称	所在地
51	みどり台4号公園	みどり台北2丁目111
52	埋蔵文化財センター広場	長都42
53	北信濃2号公園	北陽6丁目12
54	勇舞中学校	勇舞3丁目6-23
55	勇舞公園	勇舞6丁目9
56	北海道千歳北陽高等学校	北陽2丁目10
57	北陽小学校	北陽3丁目9
58	ひばりが丘3号公園	北光3丁目3
59	ひばりが丘2号公園	北光6丁目3
60	高台小学校	富丘1丁目19-4
61	とみおか3号公園	富丘2丁目17
62	末広小学校	富丘2丁目6-2
63	あすなろ公園	富丘3丁目22
64	とみおか2号公園	富丘3丁目13
65	とみおか公園	富丘4丁目13
66	とみおか4号公園	富丘4丁目27
67	むつみ公園	高台3丁目2
68	桜ヶ丘公園	高台5丁目2
69	富丘中学校	あずさ1丁目2
70	青空公園	あずさ1丁目1
71	千歳市総合武道館	あずさ1丁目3
72	あずさ4号公園	あずさ5丁目133
73	末広東公園	末広3丁目3
74	末広中公園	末広4丁目6
75	末広西公園	末広8丁目2
76	交通安全教育施設	花園1丁目6
77	花園公園	花園4丁目7
78	花園第2公園	花園6丁目8
79	稲穂公園	稲穂2丁目8
80	稲穂やすらぎ公園	稲穂3丁目6
81	稲穂フレンド公園	稲穂3丁目13
82	稲穂第2公園	稲穂4丁目3
83	千歳第二小学校	清流1丁目4-1
84	遺跡公園	清流2丁目1
85	クワガタ公園	清流2丁目16
86	コオロギ公園	清流8丁目3
87	青葉丘公園	青葉1丁目4
88	あづまソフトボール公園	青葉2丁目17
89	ハルニレ公園	青葉4丁目7
90	東1号公園	青葉5丁目4
91	鉄東コミュニティセンター	青葉5丁目8-2
92	日の出丘1号公園	青葉6丁目11
93	アンカレジパーク	青葉丘2018、1461
94	住吉グランド	住吉1丁目3
95	すみよし2号公園	住吉2丁目11
96	すみよし1号公園	住吉5丁目10
97	東郊1号公園	東郊1丁目11
98	東郊2号公園	東郊2丁目10
99	豊里ハスカップ公園	豊里2丁目5
100	青葉中学校	豊里4丁目1

番号	名称	所在地
101	豊里くるみ公園	豊里5丁目11
102	日の出小学校	日の出2丁目3
103	あけぼの公園	日の出3丁目8
104	日の出丘2号公園	日の出5丁目15
105	祝梅3号公園	旭ヶ丘3丁目8
106	祝梅1号公園	旭ヶ丘4丁目4
107	千歳市温水プール	流通3丁目1-9
108	カナリヤ公園	弥生1丁目1-1
109	やまどり公園	弥生2丁目2-2
110	弥生公園	弥生3丁目8
111	寿1号公園	寿1丁目12
112	寿2号公園	寿2丁目14
113	祝梅小学校	梅ヶ丘3丁目2-1
114	祝梅コミュニティセンター	弥生2丁目7-10
115	若草ゴリラ公園	若草1丁目4
116	若草ソウ公園	若草3丁目9、12
117	向陽台小学校	若草5丁目1
118	向陽台中学校	若草5丁目5
119	泉沢小学校	柏陽2丁目9

番号	名称	所在地
120	若草公園	若草5丁目4
121	白樺ライオン公園	白樺1丁目4
122	白樺パンダ公園	白樺5丁目12、13
123	泉沢向陽台コミュニティセンター	里美2丁目9-2
124	里美ターザン緑地	里美3丁目1
125	里美コアラ公園	里美4丁目10、5丁目4
126	太陽公園	柏陽1丁目1
127	リス公園	福住3丁目9
128	向陽台公園	文京3丁目4
129	支笏湖小学校	支笏湖温泉2
130	旧中央小学校グランド	中央539
131	中央コミュニティセンター	中央539
132	千歳公民館泉郷分館	泉郷289-17
133	駒里小中学校	駒里1152
134	東小学校	東丘824-30
135	東千歳中学校	幌加731
136	河川防災ステーション	駒里2212-13

## ●洪水等

番号	施設名	所在地	対象予定地区
1	北海道千歳高等支援学校	真々地2丁目3-1	真々地・本町・朝日町
2	千歳中学校	栄町4丁目35	本町・東雲町・春日町・錦町・清水町
3	大和3丁目町内会館(大和団地集会所)	大和3丁目6-24	大和
4	桂木町内会館	桂木4丁目6	桂木
5	北栄小学校	北栄1丁目10-2	蘭越・新星・桂木・大和
6	ザ・ノースカントリーゴルフクラブ前庭	蘭越26	蘭越・新星
7	富丘中学校	あずさ1丁目2-1	末広・花園・清流・幸福・根志越(千歳川左岸側)
8	勇舞中学校	勇舞3丁目4-2	みどり台北・みどり台南・都・長都・釜加
9	日の出小学校	日の出2丁目3-20	住吉・東郊・根志越(千歳川右岸側)
10	鉄東コミュニティセンター	青葉5丁目8-2	朝日町・青葉
11	祝梅小学校	梅ヶ丘3丁目2-1	豊里・寿・祝梅
12	祝梅コミュニティセンター	弥生2丁目7-10	寿・根志越(千歳川右岸側)
13	千歳公民館泉郷分館	泉郷289	泉郷
14	中央コミュニティセンター	中央539	中央

## ●崖崩れ、土石流

番号	施設名	所在地	対象予定地区
1	千歳中学校	栄町4丁目35	本町・真町
2	大和3丁目町内会館(大和団地集会所)	大和3丁目6-24	大和
3	桂木町内会館	桂木4丁目6	桂木
4	ザ・ノースカントリーゴルフクラブ前庭	蘭越26	蘭越・新星
5	北栄小学校	北栄1丁目10-2	大和・緑町・北斗
6	向陽台中学校	若草5丁目5	白樺
7	支笏湖小学校	支笏湖温泉2	支笏湖温泉・美笛・幌美内・モラップ
8	千歳公民館泉郷分館	泉郷289	泉郷
9	東千歳中学校	幌加731	協和・幌加

## ★広域避難所

番号	施設名	所在地
1	青葉公園	真町2196-1及び泉沢858(千歳川右岸)
2	青空公園	あずさ1丁目(千歳川左岸)

※広域避難所は、地震などによる火災が延焼、拡大して市域全体が危険になった場合に避難する場所です。



# 指定避難所一覧

災害の種類に応じ、避難した方を一時的に滞在させるための場所で、みんなで協力しあって運営する共同生活の場所です。公立の小・中学校、コミュニティセンターなど合計47か所を指定しています。



## ●地震

番号	施設名	所在地	対象予定地区
1	千歳小学校	本町3丁目4-11	本町・平和・真町
2	北海道千歳高等支援学校	真々地2丁目3-1	真々地
3	千歳市総合福祉センター	東雲町2丁目34	東雲町・朝日町
4	千歳中学校	栄町4丁目35	清水町・幸町・千代田町
5	千歳市民文化センター	北栄2丁目2-11	栄町・北栄1丁目の一部・北栄2丁目
6	北栄小学校	北栄1丁目10-2	錦町・新富1丁目の一部
7	北海道千歳高等学校	北栄1丁目4-1	北栄1丁目の一部・新富1丁目の一部
8	北新コミュニティセンター	新富2丁目1-21	新富1丁目の一部・新富2丁目の一部・新富3丁目の一部
9	新富北町内会館	新富3丁目14	新富2丁目の一部・新富3丁目の一部
10	緑小学校	緑町4丁目4-1	緑町・桂木1~4丁目・大和3、4丁目
11	桂木町内会館	桂木4丁目6-2	桂木5、6丁目
12	千歳市蘭越生活館	新星1丁目3-7	蘭越・新星
13	千歳市スポーツセンター	真町176-2	春日町・大和1、2丁目
14	北斗中学校	北斗5丁目1-1	北斗
15	北桜コミュニティセンター	北斗5丁目6-12	自由ヶ丘1、2丁目
16	桜木小学校	自由ヶ丘7丁目1-1	自由ヶ丘3~7丁目・桜木・北信濃の一部・上長都の一部
17	信濃小学校	信濃2丁目34-12	信濃
18	北信濃コミュニティセンター	北信濃864-5	富士・北信濃の一部・上長都の一部
19	高台小学校	富丘1丁目19-4	富丘1丁目・高台1~3丁目
20	富丘中学校	あずさ1丁目2-1	富丘3丁目の一部・あずさ・北信濃の一部
21	富丘コミュニティセンター	富丘4丁目12-16	富丘3丁目の一部・富丘4丁目
22	末広小学校	富丘2丁目6-2	富丘2丁目・高台4~6丁目
23	千歳市子育て総合支援センター	花園4丁目3-1	花園
24	花園コミュニティセンター	花園4丁目2-5	末広の一部
25	千歳市総合武道館	あずさ1丁目3-1	稲穂
26	千歳市末広会館	末広8丁目6-5	末広の一部
27	北海道千歳北陽高等学校	北陽2丁目10-53	北光の一部・北陽5~8丁目
28	北陽小学校	北陽3丁目9-1	北陽1~4丁目・北光6、7丁目の一部・長都駅前1丁目
29	千歳第二小学校	清流1丁目4-1	清流・幸福・根志越の一部
30	勇舞中学校	勇舞3丁目4-2	勇舞・長都駅前2~5丁目・みどり台北・みどり台南・上長都の一部・都の一部
31	北コミュニティセンター	釜加362	都の一部・長都の一部・釜加・上長都の一部
32	日の出小学校	日の出2丁目3-20	日の出丘・日の出・住吉5丁目・柏台・流通1、2丁目・豊里5丁目の一部・梅ヶ丘の一部
33	鉄東コミュニティセンター	青葉5丁目8-2	青葉・青葉丘・住吉2丁目
34	青葉中学校	豊里4丁目1-1	住吉1、3、4丁目・東郊・豊里
35	祝梅小学校	梅ヶ丘3丁目2-1	梅ヶ丘の一部・弥生・旭ヶ丘・流通3丁目の一部・日の出3丁目の一部
36	祝梅コミュニティセンター	弥生2丁目7-10	寿・根志越の一部・流通3丁目の一部・祝梅
37	駒里小中学校	駒里945	駒里・美々
38	向陽台小学校	若草5丁目1	若草
39	向陽台中学校	若草5丁目5	白樺
40	泉沢小学校	柏陽2丁目9	文京・柏陽・福住
41	泉沢向陽台コミュニティセンター	里美2丁目9-2	里美・泉沢の一部
42	支笏湖小学校	支笏湖温泉2	支笏湖温泉の一部・美笛・幌美内・モラップ
43	休暇村支笏湖	支笏湖温泉	支笏湖温泉の一部
44	千歳公民館泉郷分館	泉郷289	泉郷
45	中央コミュニティセンター	中央539	中央
46	東千歳中学校	幌加731	協和・幌加
47	東小学校	東丘824-30	新川・東丘

※地震災害時に避難所として使用する場合は、安全に使用できることを確認した後、使用することとします。また、洪水時に避難所として使用する場合にも、被災しない施設であることを確認した後、使用することとします。

## ●洪水等

番号	施設名	所在地	対象予定地区
1	北海道千歳高等支援学校	真々地2丁目3-1	真々地・本町・朝日町
2	千歳中学校	栄町4丁目35	本町・東雲町・春日町・錦町・清水町
3	北栄小学校	北栄1丁目10-2	蘭越・新星・桂木・大和
4	富丘中学校	あずさ1丁目2-1	末広・花園・清流・幸福・根志越(千歳川左岸側)
5	勇舞中学校	勇舞3丁目4-2	みどり台北・みどり台南・都・長都・釜加
6	日の出小学校	日の出2丁目3-20	住吉・東郊・根志越(千歳川右岸側)
7	鉄東コミュニティセンター	青葉5丁目8-2	朝日町・青葉
8	祝梅小学校	梅ヶ丘3丁目2-1	豊里・寿・祝梅
9	祝梅コミュニティセンター	弥生2丁目7-10	寿・根志越(千歳川右岸側)
10	千歳公民館泉郷分館	泉郷289	泉郷
11	中央コミュニティセンター	中央539	中央

※洪水等が発生する場所として、国及び北海道により洪水浸水想定区域または家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食、氾濫流)として指定されている地区を対象とします。洪水時避難所などは、発生状況などにより変更となる場合があります。また、河川状況により避難経路が変更になるおそれから、重複している対象予定地区があります。

## ●崖崩れ、土石流

番号	施設名	所在地	対象予定地区
1	千歳中学校	栄町4丁目35	本町・真町
2	北栄小学校	北栄1丁目10-2	蘭越・新星・桂木・大和・緑町・北斗
3	千歳市総合武道館	あずさ1丁目3-1	特定の医療施設患者等
4	向陽台中学校	若草5丁目5	白樺
5	休暇村支笏湖	支笏湖温泉	支笏湖温泉・美笛・幌美内・モラップ
6	千歳公民館泉郷分館	泉郷289	泉郷
7	東千歳中学校	幌加731	協和・幌加

※土砂災害(崖崩れ、土石流)が発生するおそれのある場所として、北海道により土砂災害警戒(特別警戒)区域として指定されている地区を対象とします。土砂災害時避難所などは、発生状況などにより変更となる場合があります。

## ●火山現象

番号	施設名	所在地	対象予定地区
1	千歳市総合武道館	あずさ1丁目3-1	支笏湖温泉・美笛・支寒内・モラップ・ポロピナイ

※樽前山が噴火した際に被害を受ける可能性があるかと判断される支笏湖地区住民等(観光客、登山者及びキャンパー等を含む)を対象とします。

## ★福祉避難所

番号	施設名	所在地	対象者
1	千歳市総合福祉センター	東雲町2丁目34	特定せず
2	千歳市在宅福祉総合センター	新富1丁目3-5	特定せず
3	千歳市祝梅在宅福祉センター	流通3丁目3-16	特定せず
4	北進小中学校	北栄1丁目2-6	学校通学者等
5	北海道千歳高等支援学校	真々地2丁目3-1	学校通学者等

※避難生活が長期の場合は、介護が必要な方、障がいがある方など、指定避難所では生活が困難な方を対象に福祉避難所を開設します。福祉避難所は受入体制を整えた後に開設しますので、最初は近くの指定避難所に避難してください。





# 災害への備え編 ① 「連絡方法と備蓄品」

いざという時に備えは万全ですか？

家族への連絡先や連絡方法、集合場所などを決めましょう。また、災害から復旧するまで、必要なものをそろえましょう。

## 家族との連絡方法などを決めておきましょう

災害は、家族が一緒のときに起きるとは限りません。そんなときでもあわてずにすむように、家族が離ればなれになったときの連絡方法や集合場所を日ごろから決めておくことが大切です。

### 1 連絡先・連絡方法を決めておきましょう

災害が発生した際に家族と連絡がとれるように、いざというときの連絡先、連絡方法、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板サービス(裏表紙参照)などの使い方について家族で話し合っておきましょう。



### 2 集合場所を決めておきましょう



連絡手段が利用できないことも想定し、家族で集合場所を話し合っておきましょう。また、万一のことを考えて、複数の集合場所を決めておきましょう。

集合場所は、例えば公園だけでなく「噴水の前」などと具体的に決めておきましょう。

#### 安全な避難順路の確認!!

- 避難場所までの実際の道順を確認しましょう。
- 目印になるものをおぼえておきましょう。



### 3 帰宅困難になった場合に備えましょう



職場や学校、外出先など、自宅から離れた場所にいるときに大規模な地震が発生し、電車などの公共交通機関が止まってしまうと、帰宅が困難になるおそれがあります。

一般的に自宅までの距離が10キロメートルを超えると徒歩での帰宅は難しくなります。帰宅が困難となった場合は、無理に帰宅しようとせず、職場や学校、避難所などの安全な場所で待機し、家族や自宅の安全を確認するとともに、テレビやラジオなどから正確な情報を入手するようにしましょう。また、普段から職場には食糧や飲料水などを備えておくようにしましょう。

## 主な非常持出品リスト

災害発生に備えて、日ごろから携行できる「0次持出品」と、最初に持ち出す「1次持出品」、災害から復旧するまでの数日間を支える「2次持出品」を分けて用意しておきましょう。非常持出品は、家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。

### 0次持出品

#### 携行品



現金(10円硬貨も)、身分証明書、携帯電話、筆記用具、ハンカチ、ティッシュペーパー、マスク、携帯食、飲料水、カイロ、ホイッスルなど。

### 1次持出品

#### 非常食・水



乾パンや缶詰など、火を通さずに食べられるものを。水はペットボトルが便利。家族構成に応じて、粉ミルク、おかゆなどの準備も必要。

#### 懐中電灯・携帯ラジオ



懐中電灯は、できれば一人にひとつ用意。ラジオは、AMとFMの両方を聞けるものを。予備の電池も用意。

#### 衣類・タオル



防寒用の衣類も忘れずに。タオルは汚れのふき取りやケガの手当てなど色々便利。紙おむつ、生理用品なども準備が必要。ヘルメットなどあれば安全のため着用。

#### 救急医薬品



傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など。常備薬があれば忘れずに用意。

### 2次持出品

#### 食品



缶詰、ドライフーズや栄養補助食品、調味料など、最低3日以上を。食器類も忘れずに用意。

#### 水



飲料水は大人一人当たり、1日3リットルが目安。最低3日分(推奨1週間分)以上を用意。断水時は、トイレの排水などにも使用可能。ポリ容器にも水をためておくとう便利。

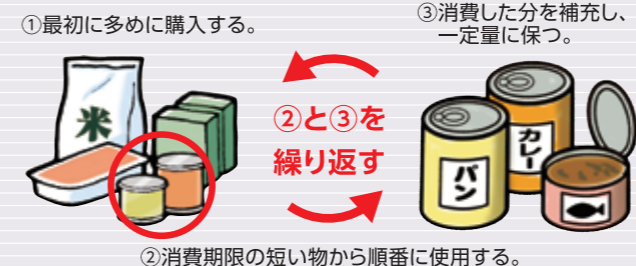
#### 燃料・防寒具・その他



卓上コンロや予備のガスボンベのほか、毛布、寝袋、洗面用具、使い捨てカイロなどがあると便利。

### ローリングストック法の活用

日常生活の中で消費しながら備蓄することを言います。食料などを一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることが可能となり、食生活に限らず、生活用品にも活用が可能です。

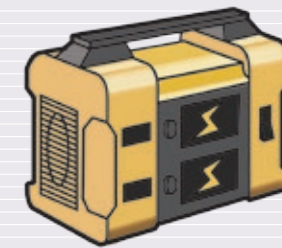


### 停電への備え

携帯電話・スマートフォンのモバイルバッテリーやポータブル発電機などを準備しましょう。車のガソリンは多めにしておくとう便利。停電復旧時は火災が起こることがあるので注意が必要です。



モバイルバッテリー

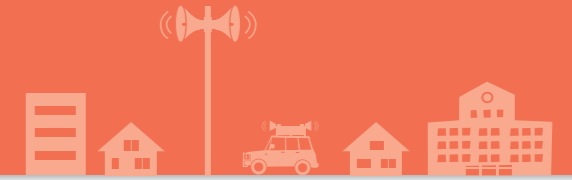


ポータブル発電機



# 災害への備え編② 「助けられる人から助ける人へ」

防災訓練や防災講座などに積極的に参加し、自分の身は自分で守る「自助」から、地域の安全を確保する「共助」に取り組み、災害による被害を減らしましょう。



## 地域で防災・減災に取り組みましょう

災害から身を守るための第一歩は、普段からの心構えといざというときのための準備です。みなさんも地域や団体、市が行っている防災訓練や研修・講座に積極的に参加しましょう。

### ▶総合防災訓練への参加

初期消火や救助資機材の使い方、炊出しの方法など災害時に役立つ技術を実践的に学ぶことができます。

※市では、地域や団体で防災訓練を行う際の相談を受けていますので、お気軽にお問い合わせください。

◎お問い合わせ先  
千歳市 総務部 危機管理課  
防災・危機対策係  
電話番号 0123-24-0144



千歳市総合防災訓練

### ▶防災講座への参加

地域の地図を使い、災害が起きた場合を想像して、災害時の対応について学ぶことができる災害図上訓練(DIG)や、避難所の運営を図面上で模擬体験する避難所運営ゲーム(HUG)などが行われています。

※千歳学出前講座で受講することができます。

◎お問い合わせ先  
千歳市教育委員会 教育部  
生涯学習課 生涯学習推進係  
電話番号 0123-24-3153



避難所運営ゲーム(HUG)

災害図上訓練(DIG)

## 千歳市防災学習交流センター「そなえーる」

災害を学び・体験し・備えることができる施設です。地震の疑似体験や火災発生時の煙避難体験など防災・減災について、体験を通して学ぶことができます。

◎お問い合わせ先

住所 千歳市北信濃631番地の11  
電話番号 0123-26-9991  
FAX 0123-26-9992  
E-Mail sonaeru@city.chitose.lg.jp  
開館時間 午前10時00分から午後9時00分  
(展示施設については午前10時00分から午後5時00分)  
休館日 月曜日・毎月の最終火曜日・年末年始  
(月曜日及び毎月の最終火曜日が祝日の場合はその翌日が休館日となります)



地震体験コーナー

施設外観



## 自主防災組織の活動に参加しましょう

災害が発生したとき、交通網の寸断、同時多発火災などにより、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき力を発揮するのが、「地域ぐるみの協力体制」です。実際に阪神・淡路大震災時には、地域住民が自発的に救出・救助活動をして被害の拡大を防ぎ、その後の復興にも大きな力を発揮しました。また、同震災や東日本大震災のように災害発生後の避難生活が長引く場合にも、地域住民が助け合って、さまざまな困難を乗り越えなければなりません。

自主防災組織とは、地域の人々が自発的に防災活動を行う組織です。「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで積極的に自主防災組織に参加し、災害に強いまちづくりを進め、「地域防災・減災力」を向上させましょう。

### 平常時

- 地域内の安全点検
- 防災知識の普及・啓発
- 防災訓練

◎災害に備えるための活動を日ごろから行います。



### 災害時

- 初期消火
- 避難誘導
- 救出・救助
- 情報の収集・伝達
- 避難所の開設・運営

◎災害発生時に協力し、被害の拡大を防ぐために行動します。



## 指定避難所の開設基準

大規模災害が発生した際、スムーズに指定避難所の開設ができるように、開設基準を定めています。次の場合、施設管理者、自主防災組織や町内会役員の方は自主的に参集し、指定避難所の開設に向けた準備を行いましょ。

- ◎震度6弱以上の地震が発生した場合
- ◎災害対策本部長(市長)が指示した場合

## 避難行動要支援者を支援しましょう

高齢者や障がいのある方、妊娠されている方などで、災害が発生した時に手助けが必要な方を「避難行動要支援者」といいます。これらの方を災害から守るために、日ごろから地域で協力し、支援していきましょう。

### 日頃の備え

◎地域のコミュニケーション



寝たきりの高齢者や障がいのある方への援護など

### 災害発生時には

◎避難の支援



避難準備の際は、優先的に手助けをする



# 災害への備え編 ③ 「情報入手する」

災害発生時には様々な情報が発信されます。自ら情報入手し、早めの避難行動につなげましょう。

## 災害に関する情報に注意しましょう

災害が発生したり、発生するおそれがある場合、防災行政無線・緊急速報メール・広報車・テレビ・ラジオ・市ホームページなどで、災害に関する情報を伝達します。正しい情報入手し、落ち着いて行動するようにしましょう。

### 1 全国瞬時警報システム《J-ALERT(ジェイ・アラート)》

弾道ミサイル情報、緊急地震速報、噴火警報等、対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、緊急情報が消防庁から人工衛星を使って送信され、防災行政無線から自動的にメッセージが放送されるシステムです。警報が発表された場合は、周囲の状況に応じて、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。

#### 国民保護に関する情報

- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- 緊急に住民に伝達することが必要な情報

#### 自然災害に関する情報

- 気象などの特別警報(大雨・暴風・大雪など)
- 緊急地震速報(震度5弱以上)
- 震度速報(震度5弱以上)
- 噴火警報(噴火警戒レベル4~5)

### 2 緊急地震速報

地震による強い揺れを事前にお知らせするための地震動の警報・予報です。テレビ・ラジオ・携帯電話・防災行政無線などで伝えられます。緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れがくるまでの時間は数秒から数十秒しかありません。まわりの人にも声をかけながら、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。

### 3 避難に関する情報

火山噴火や風水害などにより、被害が発生するおそれがある場合、市は、防災行政無線・緊急速報メール・広報車・テレビ・ラジオ・市ホームページ・SNS(Facebook・Twitter)など、多種多様な情報伝達手段を用いて避難に関する情報を発令します。

屋内にいたり、気象状況などにより防災行政無線が聞き取れない場合は、テレビやラジオ、インターネットやSNS(Facebook・Twitter)などを活用し、自ら情報入手するように心がけましょう。

避難情報が発令された場合は、地域で協力し、適切に避難するようにしましょう。

災害時は、住民一人ひとりが自らの判断で避難行動をとることが原則です。危険を感じた場合などは、避難情報が発令される前でも、自主的に安全な場所に避難するよう心がけましょう。

#### 千歳市メール配信サービス及びSNS(Facebook及びTwitter)について

千歳市では、緊急性の高い情報及びその他の市政情報を、メール配信サービスを通じて配信しています。メール配信サービスについては、「緊急・防災情報」に登録することで、避難情報や気象情報などの緊急・防災情報をメール受信できるようになります。

また、防災・減災情報等についてSNS(Facebook及びTwitter)を利用した情報配信も行っています。各2次元コードから登録・閲覧を行ってください。

[メール配信サービス]

[Facebook]

[Twitter]



#### 防災アプリ「全国避難所ガイド」の活用について

千歳市では、災害時などに備えた避難所情報や避難勧告、各種気象警報、地震情報などの防災に関する情報を、災害時用ナビゲーションアプリ「全国避難所ガイド」を通じて提供しています。このアプリは、現在地から最も近い避難所の検索やルート案内ができ、多言語対応も行っています。スマートフォン等をお持ちの方は、ダウンロードして活用してください。

[GooglePlay]

[AppStore]



## 防災情報の取得手段とその概要

市では、災害に関する様々な情報を、多種多様な手段を用いて配信しています。より多くの手段で情報入手し、早めの避難行動につなげましょう。

伝達手段	対象	概要	音声	文章
防災行政無線	市内全域	情報を屋外スピーカー及び戸別受信機により一斉に配信する	○	△ (聴覚障がい者等)
広報車	対象地域	情報を車に搭載したスピーカーから周辺地域へ放送する	○	×
メール配信サービス	サービス登録者	サービス登録者に対しEメールにより情報を一斉配信する	△ (読み上げ機能)	○
市ホームページ	閲覧者	情報をホームページへ掲載する	△ (読み上げ機能)	○
災害用SNS (Facebook、Twitter)	閲覧者 アプリ登録者	情報をアプリに掲載する 設定によりプッシュ型通知が可能 (Twitterは140文字以内の内容)	△ (読み上げ機能)	○
防災アプリ (全国避難所ガイド)	アプリ登録者	アプリにより情報を配信する 設定によりプッシュ型通知が可能	×	○
Lアラート	市内全域	自治体及び放送事業者、携帯電話会社等が情報共有を行う機能で、テレビ、ラジオ等を通じて情報が発信される	○ (テレビ・ラジオニュース等)	○ (テレビトップ、データ放送等)

- ・防災行政無線や広報車による音声放送は、簡潔な内容で放送します。  
防災行政無線が聞こえないときは「電話応答サービス 0123-40-7110」で放送内容を確認することができます。  
(通話料は自己負担となります。)
- ・読み上げ機能については、各端末などで性能が異なります。

## 平常時も気象情報などに注意しましょう。

気象庁のホームページや川の情報など災害が心配される場合は、下記のサイトなどから現在の状況を把握することができます。

#### 防災情報

気象に関すること	気象庁	<a href="http://www.jma.go.jp/">http://www.jma.go.jp/</a>	
河川に関すること	国土交通省「川の防災情報」	[PC] <a href="https://www.river.go.jp/">https://www.river.go.jp/</a> [スマホ] <a href="https://www.river.go.jp/s/">https://www.river.go.jp/s/</a> [携帯電話] <a href="https://i.river.go.jp/">https://i.river.go.jp/</a>	  
	国土交通省 洪水浸水想定区域図等	<a href="https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluh40000005ew0.html">https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluh40000005ew0.html</a>	
土砂災害に関すること	北海道 洪水浸水想定区域図等	<a href="https://www.constr-dept-hokkaido.jp/ks/ikb/iji/shinsui/index2.html?area_kk1">https://www.constr-dept-hokkaido.jp/ks/ikb/iji/shinsui/index2.html?area_kk1</a>	
	北海道 土砂災害警戒情報システム	<a href="http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/">http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/</a>	
	千歳市 土砂災害ハザードマップ	<a href="https://www.city.chitose.lg.jp/docs/95-62809-168-891.html">https://www.city.chitose.lg.jp/docs/95-62809-168-891.html</a>	





# いざという時の応急処置

問い合わせ先  
消防署救急課  
電話(23)3062へ

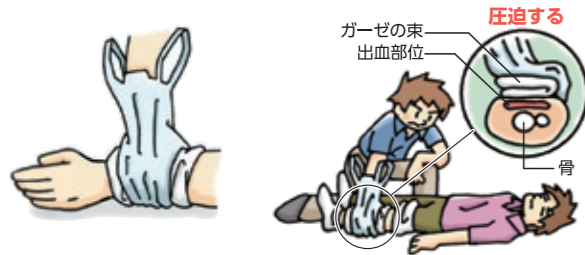
## 出血

ビニール等を使用した

### 直接圧迫止血法

### 直接圧迫止血の方法

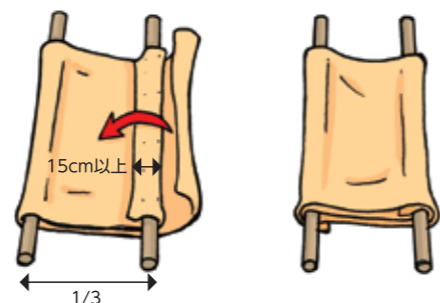
### 担架搬送法



### 出血した場合

- 出血には原則として、直接圧迫止血をします。出血を止めるために手足を細い紐や針金で縛ることは神経や筋肉を損傷するおそれがあるので行いません。ガーゼなどが血液で濡れてくるのは出血部位と圧迫位置がずれている、または圧迫する力が足りないためです。
- 感染防止のため、直接血液が手に付かない様に厚めのガーゼ等を用います。できるだけビニール手袋やビニール袋を使用します。血液が付いた場合は、速やかに水で洗い流しましょう。
- 手足を止血した場合は、患部を心臓より高く上げましょう。

## 搬送法



### 棒と毛布による応急担架

毛布を広げ、約3分の1の場所に棒を1本置き、棒を包み込むように毛布を折り返します。もう1本の棒を、折り返した毛布の上に置き、残りの毛布を折り返します。

### 担架を用いない搬送法



### 背負って搬送する方法

傷病者の両腕を交差または平行にさせて、両手を持って搬送します。



### 2名で搬送する方法

- 傷病者の前後を抱えて搬送する方法
- 両手を組んで搬送する方法

## 打撲・骨折



### 打撲・骨折した場合

- 打撲は患部を冷やします(水で冷やすか冷湿布をはります)。
- 骨折は副木をして、骨折部分には触れずにそのまま固定し、動かないようにします(週刊誌・ダンボールなども副木として利用できます)。
- 内出血をしている場合は危険ですので、応急手当をした後、速やかに医療機関で受診してください。

## やけど



### やけどをした場合

- すぐに水道水などのきれいな流水で冷やします。
- 衣類を着ている場合は、着衣ごと冷やします。
- 衣類が皮膚にくっついているようなときは、無理にはがしてはいけません。
- できるだけ清潔なガーゼ、タオルなどでおおいます。



# わが家の防災メモ

いざというときに備えて、書き込んでおきましょう。

## わが家の避難所

	地震	洪水等	土砂
指定避難所			
指定緊急避難場所			

## 家族・親族・知人の連絡先

氏名	電話番号	住所	備考

## 私の防災カード 必要事項を書き込み、定期入れなどに入れ携帯しましょう。

	地震	洪水等	土砂
指定避難所			
指定緊急避難場所			
かかりつけの病院など		電話	
アレルギー常備薬など			
メモ			

	地震	洪水時	土砂
指定避難所			
指定緊急避難場所			
かかりつけの病院など		電話	
アレルギー常備薬など			
メモ			

	地震	洪水時	土砂
指定避難所			
指定緊急避難場所			
かかりつけの病院など		電話	
アレルギー常備薬など			
メモ			



# 緊急時連絡先

火事、救急は...

**119** 番

警察は...

**110** 番

**!** **災害用伝言サービス** 万一、大きな災害のときに、連絡がとれなくても、安否情報を確認め合うことができるサービスです。

**災害用伝言ダイヤル** **171** 番

大規模な災害が発生し、電話がつながりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にするNTTボイスメールサービスです。

**録音** 171 → 1 → 0123 → □□□□□□ → **伝言の録音**

※詳しい内容はNTTのホームページで確認して下さい。

**再生** 171 → 2 → 0123 → □□□□□□ → **伝言の再生**  
案内放送が流れます... 市外局番(千歳市) 被災地の方の電話番号

**ホームページ**

<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

## 携帯電話災害用伝言板サービス

大規模な災害が発生した場合、携帯電話各社のトップに「災害用伝言板」が追加され、自らの安否状態を登録することが可能になり、登録された伝言は、インターネットや携帯電話などから確認することができます。 ※使用に当たっては、各携帯電話会社のホームページで確認しておきましょう。

## 電話応答サービス

TEL.0123-40-7110

**防災行政無線**が聞こえないときに放送内容を確認することができます。(通話料は自己負担となります。)

### ! 私の防災カード 千歳市

氏名				男・女
住所				
電話	( )			
生年月日	年	月	日	血液型
緊急連絡先	電話			

### ! 私の防災カード 千歳市

氏名				男・女
住所				
電話	( )			
生年月日	年	月	日	血液型
緊急連絡先	電話			

### ! 私の防災カード 千歳市

氏名				男・女
住所				
電話	( )			
生年月日	年	月	日	血液型
緊急連絡先	電話			

### ! 私の防災カード 千歳市

氏名				男・女
住所				
電話	( )			
生年月日	年	月	日	血液型
緊急連絡先	電話			

### ! 私の防災カード 千歳市

氏名				男・女
住所				
電話	( )			
生年月日	年	月	日	血液型
緊急連絡先	電話			

### ! 私の防災カード 千歳市

氏名				男・女
住所				
電話	( )			
生年月日	年	月	日	血液型
緊急連絡先	電話			